

彙報

大正十四年度哲學科卒業論文題目 (△印課科生)

- カントの道徳法に就いて
- 論理の發展と辯
- デカルトの方法論に就て
- ライプニッツの形而上學
- プラトン・プロタゴラス篇の研究
- 純粹統覺について
- カントの認識論に對する豫備的考察
- 意志の様態
- フアイドン篇に於けるイデアの問題
- シエリングに於ける歴史の問題
- カント實踐哲學考察
- 完徳としての眞實在 (二篇以上のダイアレクティクによる終しを以て)
- 意識一般への一考察
- 精神と身體
- ベルグソンの創造的進化
- 西洋哲學史專攻
- 先驗的觀念論の發展

- 石川哲三郎
- 前田文友
- 若井林一
- 若林頼義
- 米倉守
- 長島喜三
- 中野定雄
- 中野琥逸
- 草場弘
- 松岡義和
- 伏見文雄
- 佐藤秀堂
- 三宅實
- 鈴木慶素
- 平田内藏吉
- 加來倉造

○心理學專攻

トマス・アクイナスの神の存在の證明
 言語習慣に關する差異心理學的研究
 學童の色彩美感情について
 L. Meier の特殊エネルギー説に就て
 The Play of Animals by Karl Groos.

○教育學專攻

國家と教育
 プラトンの「國家」に於ける哲學者の統治とその教育
 ベスタロツチーの教育思想の研究
 ルソーに於ける自然主義的教育の眞相
 和聲學の基礎概念
 藝術上の形式の問題

○美學美術史專攻

責任論
 佛陀の婦人
 コーエンの國家概念
 社會主義と理想主義

○倫理學專攻

シユライエヘルマツヘルの宗教論

○宗教學專攻

- 井上諦悟
- 根津義雄
- 郷伯奇
- 有馬良治
- △林一清
- 土田耕造
- 福島重一
- 崔鉉培
- △脇田庫雄
- 須永克巳
- 中井正一
- 小川平三郎
- 堀田兼成
- △藤溪證徒
- △柳田謙十郎
- 鈴木鉄一

ヘーゲルの歴史哲學に就て

齋藤善太郎

○社會學專攻

自殺につきて

松本哲隆

デュルケムの社會學の方法論的基礎

淡徳三郎

法律の社會的基礎

本田弘人

Wardの純正社會學に於ける社會力と

△中村健三

○藤井健治郎先生御歸朝歡迎會

一月二十二日午後六時より倫理教育兩學會合併して、藤井先生の御歸朝歡迎會を行ふ。會するもの略五十名。先生は風邪をなされて一時間にわたりK.K.K.の運動等につきて有益なるお話しありたり。

○心理學讀書會

一月二十九日(木)三時半より心理學實驗室に於て

Crossの動物心理

林一 清石

○哲學會例會

二月五日(木)午後六時より本年度卒業生諸君の豫饗會を行ふ。西田、朝永、波多野、田邊の四先生出席さる。

寄贈書籍雜誌

ウインデルバンド

文學士

ブラント

出田中美知太郎 隆共譯

彙報、寄贈書籍雜誌

哲學概論

東京 大村書店
文學士 兒玉達童著
東京 大村書店

神の思ひ

東京 出村書店
文學士 出村書店著

哲學方法論

東京 大村書店
文學士 橋高倫一譯

佛陀の言葉

東京 友松園譯
文學士 友松園譯

親鸞聖人の信念

東京 曉鳥敏
金澤 香草社

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、觀想、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育時論、願慧、三田文學、信濃教育、東亞之光、教育學術會、東洋思想研究、都市教育、社會學雜誌、生理學研究、教育畫報、佛教研究、講座。